

GBIF ワークショップ2020  
加速するGBIFデータの利活用

**総合討論・質問**

2020.12.5.

# 参加者チャットからの質問(1/3)

- 大橋様への質問: データの下処理(クリーニング)って共通化／共有化されていないんでしょうか？
- 池田様への質問: 今回、GBIFから取得した(であろう)分布情報は緯度・経度だけですか。高度も使っているのですか
- 池田様への質問: DNA配列情報、というのは現在生息している植物から取得したものなのですよ(真意は、GBIFなどの生物多様性情報・標本情報とDNA配列情報は別由来のものですよ。(=今回は標本もDNA情報も両方あるサンプルではない

# 参加者チャットからの質問(2/3)

- 大橋様への質問: 移動において地形(高山や海峡など)の制約は考慮されていますか？
- 池田様への質問: 日本の高山では積雪量(冬季の降水量)や季節風の影響が大きいと思いますが、過去の気象モデルでは、積雪量や風向風力なども考慮されているのでしょうか。

# 参加者チャットからの質問(3/3)

- 細矢様への質問: GBIF全般に関して。GBIFに登録されているデータの質・信頼性のチェックはどのようにしている・もしくはまったくされていない、のでしょうか。すべて使用者の判断になりますか。データを使用する際にクオリティーのランク(高・中・低)など目安があると使用しやすく、解析結果の解釈もよりやり易くなるかと思えます。
- 演者の皆様への質問: ハビタット獲得・ロスを推定する際、種レベルで分散能力を考慮されていましたが、個体数の増減も考慮されているのですか? 数10年の短い時間スケールでの推定では、種の再生産までにかかる年数の差(毎年なのか10年以上か)の影響は重要かと思いました。

# GBIFへのデータ提供

- iNaturalistのように、研究者に限らず一般の方がGBIFへデータ提供できる仕組みは大事だと思いますが、一般の方がiNaturalistなどを通してGBIFにデータを提供するために必要な条件は何でしょうか？

たとえば、

- ・同定の信ぴょう性
  - ・同定された分類群の階級の高さ(種以下の分類群に限るなど)
  - ・生物の証拠が含まれる写真または音声の有無
  - ・生物の生死   ・野生なのか、飼育・栽培されているのか
  - ・日付が正確かどうか   ・座標が正確かどうか
- iNaturalistなど、GBIFにデータを提出するシステムが複数ある場合、それぞれに同じ投稿をすると最終的にGBIFにダブったデータが存在することになると思います。その場合の対処法や改善案などあれば教えてください。

# GBIF Backbone Taxonomy

- GBIF Backbone Taxonomyの分類体系が明らかに間違っている場合、それを修正するために私たちが取れる手段はあるのでしょうか？
- GBIF Backbone Taxonomyには、界・門・綱・目・科・属・種・亜種・変種・品種の階級しか設けられていないようですが、なぜでしょうか？また、亜種かつ変種、あるいは変種かつ品種といった、infraspecific epithetが2つ以上あるタクソンが無いようです。これらのタクソン扱いはどうなっているのでしょうか？

# GBIF データ利用(1/2)

- GBIFのデータを商業利用している例はあるでしょうか。CC-BY-NCの場合に実際に誰と商業利用契約を結ぶのでしょうか、例があれば教えて下さい。また、-NCとした場合、著作権の期限のようなものはGBIF側で設定しているのでしょうか？
- GBIFのAPIの使い方と、他のDBで抽出した結果とGBIFでの抽出結果の関連性の解析について知りたいです。

# GBIF データ利用(2/2)

- GBIFを用いた研究の将来像についてアイデアをお聞きしたい(今はできないけど、こういうことができる時代が来れば、何ができて、何がわかるのか)。
- Zoonotic Diseases研究へのデータ集積活用方法